

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大隅東小	学校	児童数	33
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.00	16.93	32.73	35.60	36.79	9.68	140.50	20.29	48.17
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.50	15.94	38.22	33.61	32.69	9.53	142.24	11.94	52.73
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計得点では、対大阪市比は、男子-2.96で下回り、女子+0.26で上回った。対全国比は、[男子-4.36、女子-1.19]で下回った。種目別で見ると、男子はすべての種目で下回った。女子は長座体前屈、立ち幅とびで、大阪市平均を上回り、握力、50m走で、大阪市・全国平均を上回った。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」については、男子は肯定的回答（好き・やや好き）の児童が、93.3%で、大阪市・全国平均93.2%とほぼ同じである。。女子は「好き」と回答する児童が61.1%で、全国平均54.8% [+6.3]、大阪市平均53.0% [+8.1] と大きく上回っている。また、一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が、男子は13.3%で（大阪市11.1%）（全国9.2%）高い。また、女子は27.8%で（大阪市19.9%）（全国16.1%）とても高い。今後も学校全体で体を動かす取り組みを継続して運動習慣を維持できるようにし、誰もが楽しく学習できる授業づくりを工夫する必要があるといえる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体を動かすことの少なくなる1月～2月にかけて、全学年でのかけあし集会やなわとび集会を集中して行ったことで、子どもたちの運動への意欲を高めることができた。他にも地域のスポーツクラブや行事等に参加し、スポーツに触れ合う機会が多くあったことも今後、良い結果につながっていくと思われる。一方、アンケートでは、「朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)」の項目に対して、食べない日が多いという回答をした割合が女子が0ポイントで、これまでの指導の成果といえる。一方、男子は6.7ポイントと高く、今後の課題だといえる。

[成果]

- 「運動やスポーツをすることは好き」の設問に対する男子の肯定的回答（好き・やや好き）が大阪市・全国平均とほぼ同じ。女子の「好き」の回答が大阪市・全国を上回った。
- 体育の授業は楽しいですかについて、男子は肯定的回答が100%であった。

[課題]

- 誰もが日常的に運動に親しめるような取り組みを継続・工夫する。
- 朝食の大切さをはじめとする、自分の健康への意識向上させる。